



☆☆☆ 学びの羅針盤 ☆☆☆

Learning Compass

きたえ ふれあう 富沢っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ
保護者・地域に帰します！



◇教育目標：夢をもち 未来を拓く子ども

◇重点目標：人・社会・未来とつながるWell-being2022 ～学び合う・教え合う・認め合う・助け合う・励まし合う子どもの育成～

富沢小学校の「秋の学び推進月間」の取組

校長 大野 昌広

11月11日に本校を会場に旭川市小規模・複式教育連盟実践発表会が行われました。本校職員も含め、40名を超える参加者。5～6年生の授業（授業者：和泉田教諭）を公開し、本校の学びの姿を参観していただき、協議等を行いました。参観された先生方からはICTの活用や子どもたちが主体的に学ぶ姿、自分の考えを仲間と交流し、高めていく姿等におほめの言葉をいただきました。私たち教職員にとって、とても自信につながりましたし、一層子どもたちのために「わかった！ できた！」という授業を行っていかうと決意した一日になりました。

さて、北海道教育委員会は毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」（以下「月間」という）と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、子どもたちの「確かな学力」の向上を目指しています。

この月間で示されている学校における重点的実施事項は次の通りです。

- (1) 学習指導や進路ガイダンスの充実
- (2) 研究授業の公開、国及び道の研究指定校における実践研究成果の発表等
- (3) 児童生徒による学習成果の発表会
- (4) 児童生徒及び保護者への月間の周知

この「北海道学び推進月間」は、「北海道教育の日」である11月1日（火）から11月30日（水）までの1か月間です。本校は、この期間に合わせ、以下の目標を掲げ、取組を行いました。現在の子どもたちや教職員の実態を把握し、課題を明確にし、その課題に対する改善策を複数立案し、最善の策を選択し、情報共有をし、実行しました。

※「北海道教育の日」とは……

家庭、学校、地域社会及び行政などが一体となって教育に関する理解と関心を高めるための様々な取組を展開することによって、道民の皆さんが子どもたちに対する教育について考え、語りあい、行動するきっかけとしていただく日です。教育関係団体を中心に民間35団体により組織された「北海道教育の日」制定推進協議会が、平成18年11月1日に「北海道教育の日」制定大会を開催し、毎年11月1日を「北海道教育の日」として制定宣言しました。その後、「北海道教育の日」を道民運動として地域に定着した取組とするため、新たに道民運動推進協議会が設立されました。（北海道教育委員会ホームページより引用）

授業改善を進め、Well-beingの実現につなげる！

～すべての活動に、学び合う・教え合う・認め合う・助け合う・励まし合う場面の設定～

◇ 具体的な取組事項 ◇

- (1) 旭川市小規模・複式教育連盟実践発表会の実施（11月11日）
- (2) 学習規律の改訂・定着の実施（11月8日・30日）
- (3) 学習習慣・生活習慣の実態把握と改善「富沢っ子 Well-being シート」の実施（11月8日～14日）
- (4) いじめに関する授業「SOSの出し方に関する教育」の実施（11月17日）
- (5) プロから学ぼう「書道」の授業（外部講師）の実施（11月14日）
- (6) 共生社会を学ぼう「ポッチャをやってみよう」（外部講師）の実施（11月22日）
- (7) 5～6年生「こころの劇場」動画視聴の実施（11月8日）
- (8) メディア・リテラシーに関わる授業の実施（10月）
- (9) 読書月間・読書感想文の実施（11月1日～30日）
- (10) 彫刻巡回展示（北海道立旭川美術館）の実施（10月13日～11月10日）

多岐にわたる取組ですが、いずれも「《後期》年度重点教育目標」である「人・社会・未来とつながるWell-being 2022」に迫る内容になっています。特に、(5)(6)は、外部講師をお招きし、実現した授業です。教師以外の大人の方から学ぶ機会は、子どもたちにとっては、日常の授業とは違い、特別なものであり、主体的に学んでいこうという意識をより強く促すことにつながります。「人・社会・未来」につながる学びを積極的に取り入れていきたいと考えています。保護者・地域の皆様の変わらぬご理解とご支援をお願いします。

旭複連研究大会

11月11日（金）市内の先生方をお招きして、高学年の算数の授業を見ていただきました。

タブレット型端末を使ったり、学習リーダーがいたり富沢では普通の授業風景ですが、見に来た先生たちは富沢っ子の立派な学習の様子に感心しきりでした。



「Well-being シート」へのご協力 ありがとうございました

生活・学習習慣の改善のための取組にご協力いただきましてありがとうございました。「学習時間を増やそう」、「メディアにふれる時間をコントロールしよう」、「読書がんばってみよう」と意識できたお子さんが増えたのではないかと思います。一方でメディアとかかわる時間が長すぎると感じている保護者の方もいらっしゃるようになりました。

「家庭学習のすすめ—家庭学習の習慣化を目指して—」（旭川市教育委員会）にもありましたように確かな学力を身に付けるためには、家庭学習をはじめとした学習習慣や望ましい生活習慣が定着するよう、学校と家庭が協力して指導していくことが大切です。今一度ご家庭で生活のルールの確認をお願いします。目標を立て、それを達成することで自信につながります。家庭学習に取り組む時間や読書をする時間などの目標を立て、取り組ませていただきますようお願いいたします。

素敵な作品がそろいました



11月14日（月）富沢小学校ワークプラザで、特別講師の宮脇さんのお母さんに、書道を教えていただきました。

教えていただく前の作品と、イメージを膨らませ書いた仕上げの作品とを見比べるとびっくり。メッセージが伝わってくるようです。集中して学ぶことができました。

「北北海道学生書道展」に出点して多くの方に見ていただきます。

ボッチャを知っていますか

11月22日（火）カムイ大雪バリアフリー研究所から松波正晃さんを講師にお迎えし、「車いすの方の生活」の講話をいただいた後、パラリンピック競技である「ボッチャ」の体験会を行いました。

「ユニバーサルデザイン」といわれるトイレでも、手すりの角度によっては使いにくいものがあるということや、砂利道を車いすで進むコツなど、普段聞けないような話を聞くことができました。

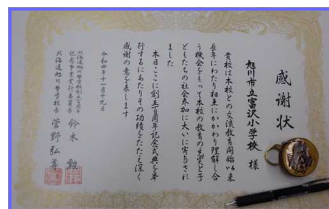
ボッチャは1年生から6年生まで体格差や体力差に関係なく競える種目です。学年関係なく仲良く遊ぶ富沢っ子にピッタリです。

冬の楽しみが増えました。



感謝状をいただきました

旭川聾学校は、今年創立100周年を迎え、11月19日（土）に記念式典が行われました。その中でこれまでの交流教育活動に対し、感謝状をいただきました。近年はコロナ禍で対面の交流ができていないのですが、学芸会のビデオ交流から再開を目指しています。



ふれあいお楽しみ会

11月29日（火）ふれあいお楽しみ会が開かれました。PTA事業部の皆さんには、早くからご準備いただき、楽しい時間となりました。

PTAの皆さんの「子どもたちのために」という思いが伝わってきました。ありがとうございました。

12月の予定

- 2日（金） PTA研修会（リース作り）
- 5日（月）～8日（木） 個人懇談週間
- 8日（木） クラブ
- 9日（金） 除雪教室
- 13日（火） 委員会
- 16日（金） 全校一輪車参観日
- 23日（火） 終業式

